

名古屋市蓬左文庫 Nagoyashi Hôsabunko 1990. 1



夫木和歌抄 江戸初期写 36巻目録 1 巻37冊 (23.2×16.8cm) 梨子地 秋草菊折枝蒔絵書物簞笥 (27.8×20.2×36.5cm)

14世紀のはじめ、歌人藤原長清が編纂した私撰集。万葉集以後、鎌倉時代にいたる和歌の中から、勅撰集やその他の歌集の撰にもれた作品約18000首を収録、従来の歌集の欠を補う大歌集。"夫木』とは"扶桑』(日本の別名)の字の一部を略してつけたもの。

本書は、二人の尾張藩主夫人の蔵書であったと見られる。最初の所蔵者は、三代藩主綱誠の夫人新君(1654~92)、二人目は、九代藩主宗睦の夫人好君(1730~78)。梨子地金蒔絵、銀金具つきの書物簞笥の意匠は、秋草に近衛家出身者の調度に共通して見られる菊折枝があしらわれ、近衛家久の娘である好君の時に調えられたものと推定される。ちなみに旧記には、新君蔵書「夫木抄」の容器の意匠は「梨子地秋野金蒔絵」とある。

書物のデザイン

~ IV. 和歌と物語の世界~

1990.1.13~3.18

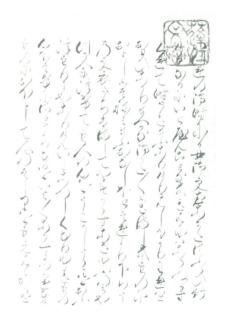
江戸時代からの尾張徳川家の蔵書を伝える当文庫には、大名調度の一つとして、藩主やその家族達の周辺を飾った装飾性に富んだ和歌や物語の書物が伝わっています。

和歌や物語の書物の中には、伝統的に装飾性を重視したデザインのものが多く見られます。漢文学に対して、和歌や物語を中心とした和文の文学が発生し開花するには、仮名文字、とくに日本語の自由な表現を可能にした平仮名の普及が重要な意味をもっていました。平仮名のやわらかな書体を続けて書くことにより、かな書の繊細、流麗な美しさが生れたのです。平安時代の王朝文化の中で開花した和歌や物語のみやびな世界を後世に伝えるにあたって、かなの書方は視覚的効果にすぐれた美しさをもっていました。

また、当時の華やかな王朝文化の中にあっては、和歌や物語の世界の演出には書だけではなく、書を記す料紙にも、様々な色彩の色紙、金銀泥で山水や花鳥風月を描いたもの、切箔や砂子を散らしたもの、雲母刷や蠟箋などの輸入品、打ち曇りや飛び雲などの変わり漉き、これらの高価な料紙のやぶれ継ぎなど高度な技術を駆使した紙を使った豪華な装飾本が作られ平安貴族達の間で珍重されました。現存する装飾本の中でももっとも有名な「西本願寺本三十六人集」(国宝・西本願寺蔵)は、優美なかな書と装飾料紙の融合によって王朝文化のみやびな世界を現代に伝えています。

貴族社会が衰退し、和歌や物語がその新しい創造性を失ってからも、和歌や物語に対する知識は、公的な地位 や教養の水準を示すものでありつづけ、その書物も、各々の時代の美意識をとり入れながらも平安朝以来のデザインが重視されました。江戸時代には、大名調度としても様々な形でとり入れられ、和歌や物語の書物は支配者 層の身辺を飾る調度として豪華な意匠をこらしたものも数多くつくられました。

今回は、書物のデザインの最終回として、書の美しさも含め、繊細で華やかな和歌や物語の書物を集めて御紹介します。







源氏物語 天正 8年(1580)写 54巻54冊付系図 1 帖(24.1×17.1cm) 書物簞笥・同蓋 ($28.6 \times 20.6 \times 41.8$ cm)

十一世紀前期に紫式部が著した長編物語。我が国古典文学の最高峰とされる作品。「源氏物語」の写本の系統は、青表紙本、河内本、別本の三系統に大別され、本書は青表紙本系の一つ。きりつぼの巻の巻末に「此一冊者 南都大東和忠依所望染筆者也 一校之次 記之而已 于時天正八年仲冬望紹巴(花押)」と、連歌師として知られた里村紹巴(1525~1602)の自筆奥書がある。他の巻は、紹巴一門の手になる寄合書。桐の節材を外側に使い、けんどん蓋の裏とひき出しの表および側面に金蒔絵を施した凝った意匠の書物箪笥が付いている。旧記には、四代藩主吉通の生母本寿院(1665~1739)の蔵書とある。

「書物のデザイン~Ⅳ.和歌と物語の世界~」出品目録

_	和歌	_				- t 10 Hz	
	1.	詠歌大概	1	₩	19.	八代集	140巻14冊
		藤原定家				江戸中期写	
		江戸初期写			20.	二十一代集	400巻48冊
	2.	詠歌大概	1	 }		江戸中期写	
		藤原定家			21.	万葉集	20巻20冊
		寛永 8 年写(良恕親王筆)			2.0	江戸初期写	100
	3.	詠歌大概	1	 }	22.	万葉集(桂本)	1 巻
		藤原定家			00	平安時代写(昭和3年尚古会複製)	
		江戸中期写			23.	三十六人家集	36巻36冊
	4.	詠歌大概	1	 		藤原公任編	
		藤原定家			0.4	江戸初期写	• III
		寬文11年写(花園実満筆)			24.	百人一首	1 冊
	5.	三部抄	1	 		藤原定家編 江戸中期写	
		江戸初期写			25.	百人一首	1 1111
	6.	和歌庭訓	1	 	23.	藤原定家編	1 冊
		藤原為世				江戸中期写	
		江戸初期写			26.	百人一首 附・制詞歌	1 冊
	7.	松緑集	1	HH	20.	藤原定家編	1 [11]
		釈堯慶				江戸初期写	
		永正 4 年写(自筆本)			27.		1 冊
	8.	竹苑抄	1	 	21.	江戸中期写	1 [11]
		江戸初期写			28.	夫木和歌抄	37巻37冊
	9.	竹苑抄	1	 		藤原長清編	01 6 01 111
		江戸初期写				江戸初期写	
	10.	懐紙短尺寸法	1	 	29.	風葉和歌集	18巻 4 冊
		飛鳥井雅康				江戸中期写	200 110
		江戸中期写		m	30.	名所の和歌	1 删
	11.	四季要集	1	₩		江戸中期写	
	10	江戸中期写	1	m.	31.	類題和歌集	6 ∰
	12.	和歌の読み方	1	⊞		後水尾天皇編	
	10	宝永 2 年写 秘蔵抄	1	H		江戸中期写	
	13.	江戸初期写	1	III	32.	遠島百首	1 冊
	14	古今和歌集	20巻 1	1111-		後島羽天皇	
	14.	紀貫之	202 1	ניין		江戸初期写	
		室町時代写 (伝三条西実隆筆)			33.	阿波院百首御製	1 冊
	15.	拾遺和歌集	20巻 1	1111-		土御門天皇	
	10.	文明 2 年写(東常縁奥書)	20.5 1	110		江戸中期写	
	1.0		101//	III	34.	清原元輔集	1 冊
	16.	金葉和歌集	10巻 1	1111		平安時代写	
		源俊頼編 江戸初期写				(昭和17年前田育徳財団複製)	
	17	新古今和歌集	20% 2	IIIL	35.	中務集	1 冊
	17.	藤原定家等編	20巻 2	JIU.		平安時代写	
		室町時代写 (伝飛鳥井雅俊筆)			36.	(昭和14年前田育徳財団複製) 各 宮女御集	1 ⊞
	18.	n. n.	1	 	30.	斎宮女御集 徽子内親王 平安時代写	נוון 1
	10.	江戸初期写	1	ind		(昭和17年前田育徳財団複製)	
						(四和17年刑由目問則回侵毀)	

37.	藤原定頼集	1 冊	58.	伊勢物語	1 册
	平安時代写(昭和17年前田育徳財団	[複製)	= 0	江戸初期写	4.4 III
38.	入道右大臣集	1 冊	59.	伊勢物語器水抄	11冊
	藤原頼宗		2.0	江戸初期写(伝鳥丸光広筆)	- III
	平安時代写(昭和17年前田育徳財団	[複製)	60.	大和物語	2 册
39.	藤原清正集・興風集	1 冊	2.1	明応 5年写	W- = 0 IIII + W-
	平安時代写 (複製)		61.	源氏物語 青表紙本	
40.	藤原朝忠集	1 冊		室町末期写(伝貞敦親王等寄台	
	平安時代写(複製)		62.	源氏物語 青表紙本	00 0 =/2 00/19
41.	源重之家集	1 冊	20	天正 8年写(里村紹巴等寄合書	
40	平安時代写(尾張徳川黎明会複製		63.	源氏物語 青表紙本	54巻54冊
42.	拾遺愚草	1 冊	0.4	江戸初期写(伝八宮親王筆)	= 4 M/2 = 4 IIII
	藤原定家		64.	源氏物語 青表紙本	54巻54冊
	室町時代写		0.5	江戸初期写	- III
43.	拾遺愚草(冬の部)	2巻2冊	65.	源氏物語(たけ河)	1 冊
	藤原定家		0.0	鎌倉時代写(伝藤原為家筆)	- III
	江戸中期写		66.	源氏物語 (総角)	1 冊
44.	際三百首	1 冊	0.5	鎌倉時代写	- III
	寛永13年写	- 11	67.	源氏物語(浮舟)	1 冊
45.	鷹百首和歌	1 巻	2.0	鎌倉時代写(伝藤原為家筆)	- 111
	西園寺公経		68.	源氏物語(蜻蛉・浮舟)	1 冊
	江戸初期写		2.0	江戸初期刊	- 111
46.	鷹百首和歌	1 冊	69.	光源氏系図 長享本	1 冊
	西園寺公経		70	室町時代写	4 III
47	江戸中期写		70.	原中最秘抄	1 冊
47.	名所三百首	1 冊		明魏耕雲	
	順徳天皇・藤原定家・藤原家隆		71	室町初期写(自筆本)	4 3//- 4 IIII
48.	永禄10年写 三玉集	0.4% = [11]	71.	河海抄 巻一~四 四辻善成	4 巻 1 冊
48.	二 工 果	34巻 5 冊		室町時代写	
49.	名所の月歌合	1 冊	72.	花屋抄	4 ⊞
49.	江戸中期写	1 1111	12.	花屋玉栄	4 [11]
50.	むしの歌合	1 冊		慶長8年写	
50.	江戸中期写	1 [11]	73	岷江入楚	55冊
51.	器恋歌合	1 冊	15.	中院通勝	33 [11]
01.	江戸中期写	1 [11]		江戸初期写	
52.	撰歌合	1 ∰	74.	夢の通路物語	6 冊
02.	江戸中期写	1 [11]	11.	江戸初期写	O Jiij
53.	明公御詠	14⊞	75.	岩清水物語	2 冊
00.	徳川宗睦	1410	10.	江戸初期写	2 10
	文化年間写(維姫写)		76.	清水冠者物語	2 冊
54.	和漢朗詠集	2巻2冊		江戸初期写	2 10
	藤原公任編		77.	しのびね	2 冊
	室町時代写 (伝二条為重筆)			江戸初期写	2 10
-物語-	_		78.	しのびね	2 冊
55.	竹取物語	1 ∰		江戸初期写	
	室町末期写		79.	大鏡	3 冊
56.	伊勢物語	1 冊		室町時代写	
	室町時代写(伝牡丹花肖柏筆)		80.	唐鏡	1 冊
57.	伊勢物語	1 冊		藤原茂範	
	室町時代写			鎌倉時代写	

※ ないのとことの 達在アルバム をないというになっている

8. 名古屋叢書の思い出(1) (「名古屋叢書三編だよりNo.17」より再録)

私が「名古屋叢書」に深くかかわるようになったのは、蓬左文庫とともに名古屋に来てからのことです。すでにこの「三編だより」の一号で書いたように、名古屋叢書の編纂事業は、昭和16年からはじまっていました。大正4年から昭和9年にかけて刊行された「名古屋市史」12巻の「資料編」の意味もあって始められたもので、編集委員には、当時の錚々たるメンバーが集められていました。

当時の蓬左文庫が属していた徳川黎明会からは、この編纂事業に顧問として会長の徳川義親先生、参与に所三男先生が参加していて、文庫も全面協力の態勢でした。編集室員や編集委員、参与の方々が、文庫へ資料選定のために泊まりがけで来ていましたが、この中に、後に、戦後の刊行事業の際にも編集委員を勤めていただいた尾崎久弥先生や市橋鐸先生も参加していました。私は当時はまだ新米の文庫職員でしたが、名古屋叢書とのかかわりは、このころからはじまっていたわけです。

昭和16年にはじまった編纂事業は、いったん軌道にのったかに見えましたが、戦争が激しくなるとともに、事業の進行は困難な状態に追いこまれていったようです。昭和20年3月の空襲で編集室のあった市立名古屋図書館(現名古屋市鶴舞中央図書館)が焼けたため、栄にあった市立名古屋公衆図書館(現在の西図書館の前身)へ移転して、編集事業を続けていましたが、昭和24年には、一冊も刊行しないまま、編集室を閉じることとなってしまいました。

私が蓬左文庫の名古屋市への移管にともなって、文庫の蔵書とともに名古屋に来たのは、昭和25年ですから、すでに編集室はありませんでした。昭和24年までの編纂事業については、詳しいことはわかりません。当時のことについては、最初から最後まで、編纂室主任として、編纂事業を実務の上で中心となって進めた市橋鐸先生が、「郷土資料名古屋叢書総目録」(昭和24年名古屋市教育委員会刊)「思い出の名古屋叢書」(昭和48年市橋鐸刊)に詳しく書いておられます。

昭和20年3月の空襲で編集室は焼けましたが、幸いなことに図書館の地下にあった原稿はすべて無事でした。 市橋先生によれば、原稿のあった部屋の天井近くに積んであった紙箱のふたがこげていて、もうすこしで危ない ところだったそうです。この原稿は、一たん市公会堂の地下に難をよけていましたが、戦後の昭和20年10月、編 集室の移転とともに市立名古屋公衆図書館へ移されました。昭和24年の編集室閉室の際には、戦後の編集分も合 わせて、市橋先生の手によって、一巻400~500ページを目やすに、12編50巻に分類編集され、その後もしばらく

は公衆図書館(27年から名古屋市立栄図書館)に保管されていました。

名古屋叢書の刊行がふたたび世論に登りはじめたのは、昭和28年ごろからかと思います。このころから、市の方でも、あまり積極的ではなかったものの、刊行の動きが出はじめていました。また、昭和28年から30年にかけて刊行された「大正昭和名古屋市史」も、叢書刊行再開のきっかけとなったようです。とくに、この編集に対しては一部に不満があって、叢書刊行を推進する力の一つとなったと思われます。

出書館の記憶を記しています。 旧書庫内にあった名古屋叢書の原稿

公衆図書館にあった原稿が、蓬左文庫に移されたのは、刊行再開が話題になりはじめたころだったと思います。すでにこの時から、刊行する場合には蓬左文庫でという腹案があったようです。市橋先生などの手で整然と整理された原稿は、文庫へ移された時には仮製本もなされていました。この原稿は、名古屋叢書の印刷の過程で、印刷所の方で処分されてしまい、戻ってこないままとなったものもありましたが、昭和58年秋に、文庫が新館に移るまで、旧書庫の専用の棚に整然と並べられていました。

織茂三郎談(元蓬左文庫調査研究員)

版物一覧

名古屋市蓬左文庫漢籍分類目録(S. 50年刊) 3.500円 名古屋市蓬左文庫国書分類目録(S. 51年刊) 4,000円 名古屋市蓬左文庫古文書古絵図目録(同) 2,500円 尾崎久弥コレクション目録第一~三集 各 1,500円 名古屋叢書(正編)索引・総目録(S.53年刊) 2,000円

名古屋叢書続編 索引(S. 47年刊)

名古屋叢書続編総目録(S. 44年刊)

700円

善本解題図録第一~三集(S.55年再版)

400円 各 300円

200円

300円

日本の古典〈蓬左文庫図録〉(S. 52年刊)

10

蓬左文庫·源氏物語図録(S. 53年刊)

蓬左文庫所蔵古地図複製 No.1~No.15(S.55~61年刊) 各 1,800円

1. 尾府名古屋図 2. 尾州名古屋御城下之図 3. 名古屋図 4. 尾張八郡図 5~15 尾張志付図

5. 尾張国 6. 爱知郡東 7. 爱知郡西 8. 春日 井郡 9.智多郡 10.熱田 11.丹羽郡 12. 海東郡 13. 海西郡 14. 中島郡 15. 葉栗郡

御本印型書鎮(S. 58年製)

1,000円

堀田文庫蔵書目録(S. 58年刊)

500円

蓬左文庫絵葉書〈8枚組〉(同)

300円

蓬左文庫図録(同)

1.500円

蟹江慶次郎旧蔵書目録(S. 62年刊)

500円

名古屋叢書三編 全19巻20冊(S55~63年刊)各3,000円

- 1. 尾張徳川家系譜
- 2. 星藩世記 上
- 司
- 4. 土林泝洄続編
- 5. 尾張年中行事絵抄
- 百
- 同
- 8. 張州年中行事鈔·尾張俗諺·尾張童遊集

下

下

- 9. 松涛棹筆(抄) 1
- 百
- 11. 楽寿筆叢・十如是独言
- 12. 葎の滴 諸家雑談・家事雑識
- 13. 天保会記鈔本
- 14. 金明録
- 15. 尾張方言・水かはり・浪越方言集・宮訛言葉の掃溜 雅語訳解·俗語弁
- 16·横井也有全集上(発句·和歌編)
- 中 (俳文・俳諭俳話編) 百 17
- 18. (1) 同 下(1)(連句・漢詩文編)
- 18. (2) 同 下(2)(狂歌·談義·伝記資料·追加·参考編)
- 19. 物品識名·物品識名拾遺·本草会物品目録·泰西本草名疏
- ★以上の出版物は、本文庫事務室において頒布してい ます。郵送希望の方は郵送料が必要ですので、お問 い合わせ下さい。(ただし、古地図複製は郵送不可)

内 <<<

▷開館時間 午前9時30分~午後5時

毎月曜日・第3金曜日(館内整理日) ▶休 館

> 日曜に重なる場合は日曜開館、月・火休館 祝日(月曜 月・火休館

年末年始(12月28日~1月4日)

館内に限り、館外貸し出しはいたしません 階

(閲覧料)普通図書 無料

重要図書 有料(1部350円)

名古屋市蓬左文庫

〒461 名古屋市東区徳川町1001番地

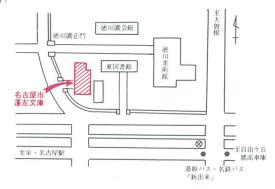
(052)935 - 2173

/〈名古屋駅から〉 市バス 基2 「自由ケ丘」 「猪高車庫」行 名鉄バス「本地ヶ原方面」行 ら〉 市バス(基2)「引山」「自由ヶ丘」 「猪高車庫」行

「新出来」下車、徒歩4分

>展 示 随時蔵書の一部を展示 (特別展を除き入場無料)

普通図書のうち、保存上影響のない ▷複写サービス ものについて複写サービスを行いま す。その他、マイクロフィルムの利 用、写真撮影の申請を受け付けます ので、ご来庫の上、ご相談下さい。



「蓬左」第40号 ☆ 平成 2 年 1 月 13日発行 ☆編集・発行:名古屋市蓬左文庫(東区徳川町1001番地)

☆無料 ☆不定期刊行 ☆印刷:大同印刷株式会社(東区泉2-3-18)